

Technology to Inspire Innovation

2016年度第1四半期 **(2016年4月～6月)** **決算補足資料**

2016年7月27日

6807 日本航空電子工業株式会社

事業環境

- ▶ 世界経済の不透明感は増加、四半期後半には急速な円高が進行し国内経済の見通しにも不安感
- ▶ 世界的なスマートフォン市場の減速に加え、自動車生産は一部弱含み、産機・インフラ市場は厳しさが継続

当社業績

- ▶ コネクタ売上高は15年度4Qを底に回復方向。
UIS事業、航機事業も計画線で推移
- ▶ 全社売上高・営業利益は期初想定通りとなったものの、四半期後半の円高により為替差損が発生
- ▶ 現在の為替状況を踏まえ、2Q以降の想定レートを変更。
上期/通期業績見通しを修正

	2015年度1Q (15/4~6)	2015年度4Q (16/1~3)	2016年度1Q (16/4~6)	前年同期比 16-1Q/15-1Q		前四半期比 16-1Q/15-4Q	
				(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	486	367	367	-119	75%	0	100%
営業利益 対売上比	65 13.5%	9 2.4%	14 3.9%	-51	22%	6	164%
経常利益 対売上比	63 13.0%	6 1.5%	3 0.8%	-60	4%	-3	50%
純利益 対売上比	47 9.6%	4 1.1%	4 1.0%	-43	8%	-1	85%

期中平均レート
(円/USD)

121.4

115.4

108.0

-13.4

-7.3

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

	2015年度1Q (15/4~6)		2015年度4Q (16/1~3)		2016年度1Q (16/4~6)		前年同期比 16-1Q/15-1Q		前四半期比 16-1Q/15-4Q	
	(億円)	構成比	(億円)	構成比	(億円)	構成比	(億円)		(億円)	
携帯機器	213	44%	96	26%	122	33%	-91	57%	26	127%
自動車	163	34%	166	45%	158	43%	-5	97%	-9	95%
産機・インフラ	68	14%	62	17%	60	16%	-8	88%	-2	97%
その他	42	8%	42	11%	27	7%	-15	64%	-15	64%
計	486	100%	367	100%	367	100%	-119	75%	0	100%

国内	129	27%	139	38%	125	34%	-3	97%	-14	90%
海外	357	73%	227	62%	242	66%	-116	68%	14	106%

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

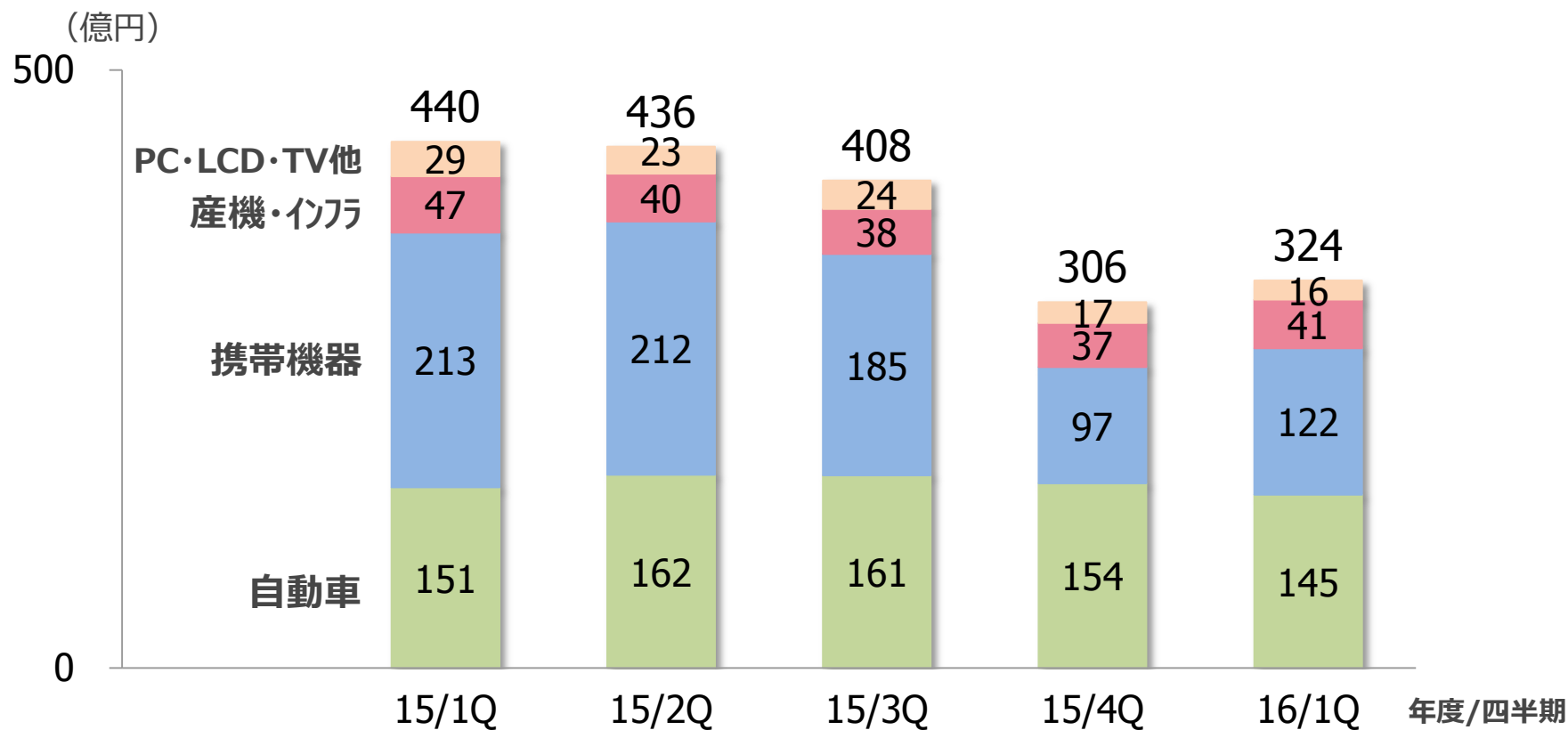
	2015年度1Q (15/4~6)		2015年度4Q (16/1~3)		2016年度1Q (16/4~6)		前年同期比 16-1Q/15-1Q		前四半期比 16-1Q/15-4Q	
	(億円)	構成比	(億円)	構成比	(億円)	構成比	(億円)		(億円)	
コネクタ	440	90%	306	83%	324	88%	-116	74%	18	106%
UIS	20	4%	18	5%	18	5%	-2	89%	-1	97%
航機	24	5%	41	11%	24	6%	-0	98%	-17	59%
その他	2	0%	2	0%	2	0%	-1	71%	-0	85%
計	486	100%	367	100%	367	100%	-119	75%	0	100%

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

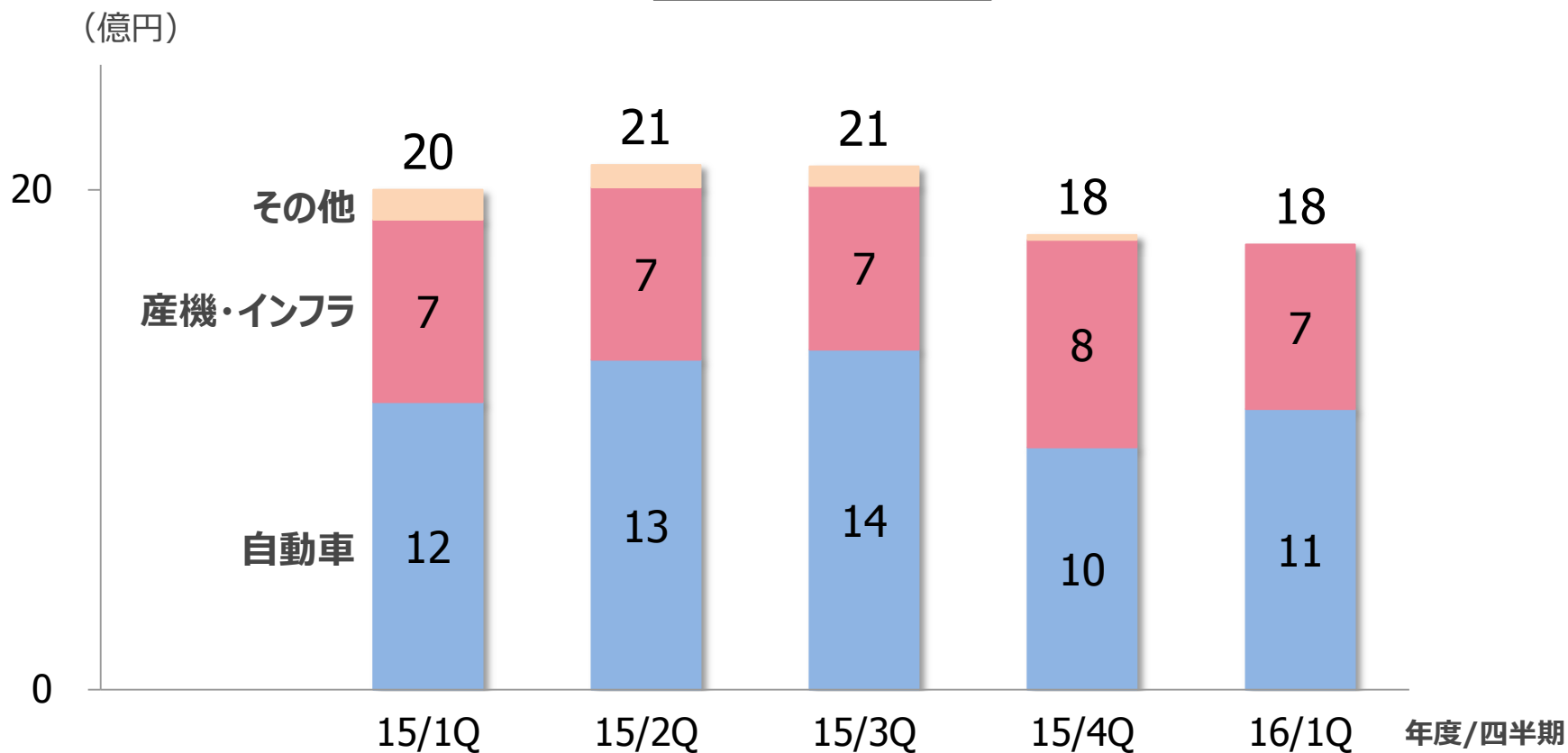
	2015年度1Q (15/4~6)		2015年度4Q (16/1~3)		2016年度1Q (16/4~6)		前年同期比 16-1Q/15-1Q		前四半期比 16-1Q/15-4Q	
	(億円)		(億円)		(億円)		(億円)		(億円)	
コネクタ	77	17.5%	15	4.9%	26	8.1%	-50	34%	12	177%
UIS	3	14.2%	2	11.8%	2	11.6%	-1	73%	-0	95%
航機	-3	-12.6%	-0	-0.8%	-3	-12.8%	0	-	-3	-
配賦不能他	-11	-	-8	-	-11	-	0	-	-3	-
計	65	13.5%	9	2.4%	14	3.9%	-51	22%	6	164%

- ※ 各四半期の(%)は売上高営業利益率。
- ※ 前年同期比・前四半期比の(%)は伸長率。
- ※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

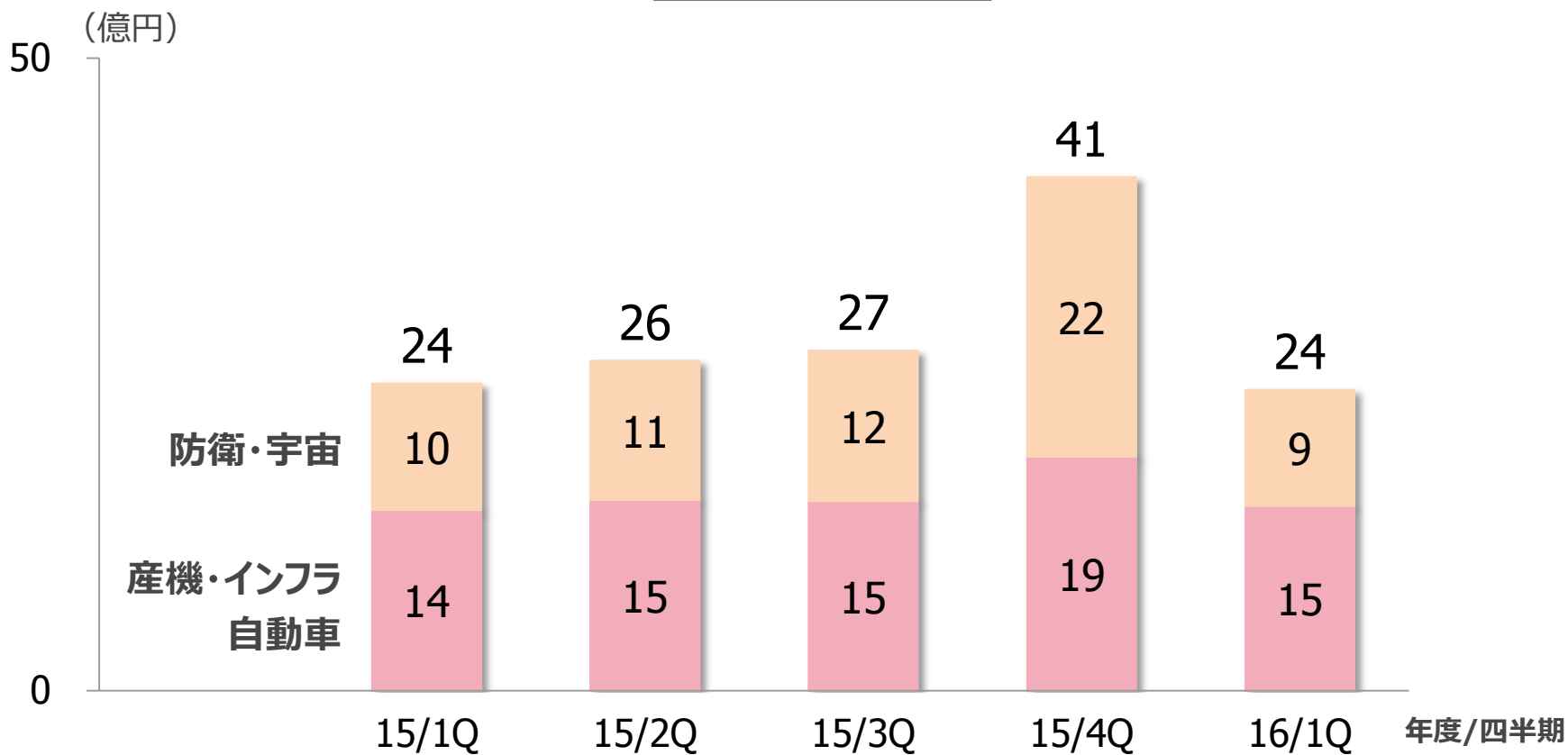
市場別売上高



市場別売上高



市場別売上高



業績見通しの修正について

- ▶ 2Q・下期 為替前提を 105円/USドル に変更
- ▶ 売上高 :
為替影響はあるものの、需要見通しは好調なため、当初予想値からほぼ変更なし
- ▶ 営業利益／経常利益／純利益 :
想定レート変更に伴い上期・通期見通しを修正

	2015年度	2016年度修正予想					
		上期	前年同期比		通期	前年比	
	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
売上高	1,795	930	-41	96%	2,100	305	117%
営業利益	179	52	-72	42%	160	-19	89%
対売上比	10.0%	5.6%			7.6%		
経常利益	169	36	-79	31%	137	-32	81%
対売上比	9.4%	3.9%			6.5%		
純利益	125	27	-58	32%	100	-25	80%
対売上比	7.0%	2.9%			4.8%		

2016年4月予想値	
上期	通期
(億円)	(億円)
932	2,100
68	190
7.3%	9.0%
60	175
6.4%	8.3%
44	130
4.7%	6.2%

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

	2015年度	2016年度修正予想					
		上期	前年同期比		通期	前年比	
	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
コネクタ	1,589	826	-50	94%	1,874	285	118%
UIS	80	37	-4	90%	80	-0	100%
航機	118	63	13	125%	138	20	117%
その他	8	4	0	96%	8	0	104%
計	1,795	930	-41	96%	2,100	305	117%

2016年4月予想値	
上期	通期
(億円)	(億円)
826	1,870
38	82
64	140
4	8
932	2,100

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

	2015年度	2016年度修正予想					
		上期	前年同期比		通期	前年比	
	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
携帯機器	707	400	-25	94%	940	233	133%
自動車	684	330	-12	96%	700	16	102%
産機・ インフラ	246	130	3	102%	300	54	122%
その他	158	70	-7	91%	160	2	101%
計	1,795	930	-41	96%	2,100	305	117%

2016年度4月予想値	
上期	通期
(億円)	(億円)
388	900
338	740
133	300
73	160
932	2,100

※ 金額は億円単位に四捨五入しております。

Technology to Inspire Innovation

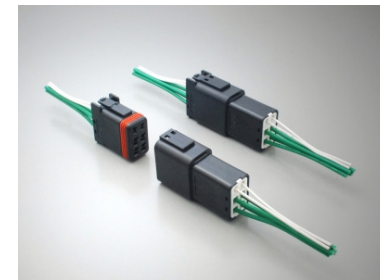
JAE

産機・インフラ向け

産業機器向け防水型中継コネクタ「H B 0 1」シリーズを開発

近年、ロボットや工作機械向けのコネクタには小型化・低背化と同時に、基板実装できない場合への対応及び防水機能が求められております。

「H B 0 1」シリーズは、電源線と信号線を同一コネクタで配線できるハイブリッド構造とすることで省スペース化を図ると共に、振動や引っ張りに強いメカニカルロック方式を採用し、さらに高い防水性を実現（I P 6 7）しております。



お知らせ

航空電子技報（No.38）

航空電子技報（No.38）を当社ホームページに掲載しております。

医療・ライフサイエンス領域やフレキシブルエレクトロニクスにおける先進技術の他、生産技術、デバイス技術領域の技術開発成果をご紹介しますので、ぜひご覧ください。

URL) <http://www.jae.com/jp/randd.html>

航空電子技報

お知らせ

日本電気株式会社による当社株式に対する公開買付け（予定）に関する 意見表明のお知らせ

詳細は5月31日付プレスリリースをご覧ください。

URL) http://www.jae.com/jp/ir/pdf/20160531_01.pdf

<注意事項>

本資料に記載されている当社および連結子会社（以下JAEと総称します）の計画、戦略および業績見通し・目標は2016年7月27現在の予測・目標であって、リスクや不確定な要素を含んでおります。

本資料に記載されている目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。

むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績は、様々な要因により、見通し・目標等と大きく異なる結果となりうることを予めご承知願います。実際の業績等に影響を与える重要な要因としてはJAEの事業領域を取り巻く日本・欧米・アジア等の政治・経済情勢、市場におけるJAE製品（リフト製品を含む）に対する需要変動、競争激化による価格下落圧力、および競合各社に打ち勝ち供給し続ける能力、海外市場における事業拡大能力、事業活動に関する法規の変更やその不透明さ、潜在的な法的責任、為替レートなどがありますが、これら以外にも様々な要因が有り得ます。世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おください。

新たなリスクや不確定要因は随時発生することが明らかなですが、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因がある為、将来予測に関して記述されている内容が実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することの無きようお願いいたします。